

# Desert Wind

## 『神の時と人の時』(伝道の書3:1-11)

LVJCC 牧師: 鶴田健次

現代はスピードの時代、また競争の社会ですから、何でも急かされるビジネスマンにとって、いかに時間を有効に使うかは重要な課題です。たとえ能力が同じでも、時間の使い方が上手な人は、より多くの仕事をする事ができます。もちろん、ビジネスマンだけでなく、時間を大事にするには誰にとっても必要なことです。昔から、時間にまつわる諺がたくさんあることを思えば、時間の大切さというものを多くの人々が認識していたことがよく分かります。

私たちに与えられている人生という時間は無限ではありません。時間を大切にすることは、生きるということを大切にすることであり、時間を無駄にするということは、生きるということをしていないことです。そこで今回は、時間、また時ということについて考えてみたいと思います。

### ①二種類の時間

新約聖書の原語であるギリシャ語には、クロノスとカイロスという二種類の時間を表す言葉があります。クロノスというのは、時計などで計ることのできる時間のことです。つまり、今日は何年何月何日であるとか、今は何時何分であるとか、そういう時間をクロノスと言います。現代人の多くは、このクロノスという時間に縛られています。

ところが、農村や漁村の人々は、今日は雲行きが怪しいから漁は休みだとか、今年は暖かいから早めに収穫の時期がきたとか、必ずしもクロノスに縛られているわけではありません。そもそもクロノスというのは人間が時計を発明して作った人間の時間で、もともと自然界には時計は存在しません。あるのはカイロスという時間で、それは人間が作ったり、管理したりできない時間です。管理するのではなく、いつ訪れるか分からない時を待つこと、見極めること、それがカイロスという時間を生きることです。クロノスが人間が作った時間であるのに対して、カイロ

スは神が備えられた時間であり、人生という時間を大切にするためには、このカイロスを大切に生きていくことが大切なのです。

### ②キリストは初めであり、終わりである

ヨハネの黙示録 1 章 17-18 節に、「恐れるな、わたしは初めであり、終わりであり、また生きている者である」というキリストの言葉があります。キリストは初めであり、終わりです。つまり、キリストによってすべてが始まり、キリストによってすべてが終わるという時間の流れがあるのです。それが神の時、カイロスです。ですから、この世界も、また私たちも、そのカイロスの中に存在しているということが分かなければ、自分の人生がどこに向かって進んでいるのかが見えて来ないのです。

ヘブル書 1 章 2 節では、「神は御子を万物の相続者と定め、また、御子によって、もろもろの世界を造られた」と言われています。キリストが万物の相続者であるということは、すべての物の目的がキリストにあるということ、またキリストが世界の創造者であるということは、この世界の起源がキリストにあるということです。つまり、世界とその中のすべてのものはキリストに始まり、キリストに帰するのであり、そういう神の時の流れの中に、この世界は存在し、また私たちは生きているのです。

### ③神のなされることの美しさ

伝道の書 3 章 11 節で、「神のなされることは皆その時になくなって美しい」と言われていますが、私たちの人生は、その定められた時に、定められた事をなすかどうかで大きく変わってきます。3 章 2 節に、「植えるに時があり、植えた物を抜くに時があり」とあるように、農作物を植える場合、いつ植えてもいい訳ではなく、定められた時期に植えなければなりません。また植えたものをいつでも収穫できるのではなく、定められた時期に収穫しなければなりません。つまり、自分たちの思い通りの時(クロノス)ではなく、定められた時(カイロス)に、定められた種を蒔けば、良い収穫が保証されるのです。なぜなら、その定められた時に基いて神様が美しい業をなされるからです。

## DREAMS COME TRUE

- ✠ 教会堂の建設
- ✠ 敬老ホームの設立
- ✠ 幼稚園の設立

### お祈りのリクエスト

- 日本の家族の救い
- 各スモールグループのオイコス伝道のために
- 入門者クラスのために 山口兄、福留兄
- 英語部の働きのために
- ユースミニストリー、サンデースクールのために
- 癒しの祈り: 恵理奈ちゃん、倉田一徳さんの脳腫瘍、神崎先生の目、植木ケン兄の糖尿病、新井雅之兄の癌、中村裕二先生の直腸癌、藤永君江姉の癌、Simeon 兄の癌、スカイ君の心臓、工藤忠行兄の癌、杉村節子姉の健康

Desert Wind では、ご意見・質問等何でも受け付けております。

lvjccdw@hotmail.co.jp

発行: 鶴田健次

編集: 松岡みどり



## 編集室・気まま便り

新年・明けましておめでとうございます。今年もよろしく願い致します。

新年の祈りをしようとペランダに出ると、飛行機が飛行機雲を伴い北から南へ、もう一機が西から東へ飛び、空を大きく4分割しました。すると見る見るうちに端が消え、完璧な形の十字架だけが残り、風が北東の彼方に連れ去るまでダイナミックな力強い十字架がいつまでも大空にかかっていた。これを見て、「わたしはある。という者である。」と主が言われているようであわてて履物を脱ぎよぎまぎ主を賛美しました。この日の祈りはとりわけ熱く、主をおそば近くに感じながら祈るひと言ひと涙が溢れ出て震える程の喜びを感じました。素晴らしい新年の幕開けでした。

新しい年 2012 年が皆様にとって「信仰」と「希望」と「愛」に満ちた年でありますようお祈り致します。

## 「今まで感じたことのない喜び」

証し: 石原 真一郎

私のキリスト教との初めての出会いは、小学校の5年生の頃、ラジオで聞いた「ルーテルアワー」という番組でした。「心に愛がなければ、どんなに美しい言葉も相手の胸に響かない。聖パウロの言葉より」というアナウンスが印象的で、通信教育により子供向けの聖書講座を終了しました。教会に行ってみようと思いつつ、鹿児島島の田舎で近くに教会はなく、そのままになってしまいました。

高校3年の卒業間近のある日、路傍伝道をしている女性に出会い、待ってましたとばかりに、その教会に通い始め、讃美歌を歌い聖書をもとに講義が進み、卒業後そのまま東京にある学生部に入り12年間所属しました。しかし自分の抱えていた劣等感、自己嫌悪の悩みは解決されないまま、私の素行の悪さゆえに、半ば追い出されるように教会をやめました。その反動からか、酒びたりの自堕落な生活にのめりこみました。

あるきっかけで渡米し、15年前にラスベガスに移り住み当然のごとくギャンブルにはまり家族を犠牲にし、友人達にも迷惑のかけ通しの15年を過ごしてしまいました。また仕事上、ルール無用のタクシー運転手とのいざこざ、紙面に書けないような酔客の醜態、さげすみ、老いゆくことへの不安、人生の挫折感などの只中で「ラスベガスアイ」を手にし、最後のページの「すべて重荷を負って苦勞している者はわたしのもとに来なさい。」という聖句が目飛び込み、胸に迫るものを感じました。しかし以前に持っていた信仰のこともありなかなか敷居が高く、今年7月やっとの思いで教会の戸をたたきました。

鶴田牧師のお話を聞き、教会メンバーの方々との交わりの中で、今まで感じたことのない喜びと、自分は変われるかもしれないという手ごたえを感じました。しかしイエス様を唯一の救い主として受け入れることは、以前に信じていた、あるいは今でも否定しきれていない教義を捨てることを意味します。大切な親友、恩人の方々との決別、さらに対立の可能性をも意味します。

なぜなら、その教義は(1)イエスの神性 (2)マリアの聖霊による懐胎 (3)キリストの栄光の体による復活 (4)イエスの十字架による完全なる救い、それらのいずれを

も否定するものだからです。こういうような葛藤をかかえながら、改めて聖書を一句ずつ読み進み、また入門コースの学びの中で、かつての教えはキリスト教を真っ向から否定する教理であることに初めて気付かされました。

その教理とは私の理解の範囲では、(1)イエスは人間であり神ではない。(2)マリアは人により懐胎した。(3)一度死んで腐敗した肉体は生き返ることはなく、キリストの復活は霊によるものである。(4)十字架による救いは霊的救いのみであり、メシヤは再び霊肉共のすくいのために女の胎から生まれなければならない。今その時がきている。というものです。

しかし新約聖書によると「行うように委ねられた働きを、すべて行い地上であなたの栄光を現しました。」(ヨハネ17:4)とあり、イエス様はまだやり残したことがあるとは言われておりません。また「私の手と足をみなさい。まさしく私だ。触ってみなさい。霊には肉も骨もないが私にはある。」(ルカ24:39)霊ではないと言われています。パウロは死者の甦り、キリストの復活がなかったとすれば、クリスチャンは神に対する偽証人になってしまうと言っています。聖書を忠実に学ぶことにより、私がかつて信じていたものはキリスト教とは根本的に異質なものであったと、自分なりに結論を出しました。

教会に通い始めて約半年、証しできることはあまりないのですが、あるとすれば仕事上のことです。ハンドルを握ると性格が変わるという人がいますが、私などはその最たる者でルール無視の悪徳タクシーに、正義漢をきどって食ってかかり、ますます怒りを増幅させていたのをやめてみました。逆に「神よ彼を祝福して下さい。」と声に出して祈ってみたいくらいと鶴田先生にアドバイスを頂き、それを実行してわずかひと月、なんと怒りさえほとんど湧いて来なくなり、私にとってまさしく不思議な神の御業です。

クリスマスという最高の日に洗礼を受けさせて頂き、また皆様の暖かい祝福に心より感謝申し上げます。来年には還暦を迎えますが真の意味で、生まれ変わった気持ちで頑張ります。

「あなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中から甦らせて下さったと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ10:9)